

参議院滋賀選挙区に野党統一候補決まる



米原市付近の活断層。マグニチュード8.2、震度6弱から7を想定

直下型地震の恐ろしさを教訓に防災を考えよう

米原市民報

No522 2016年5月1日

日本共産党米原市議団

清水隆徳 Tel52-1969

藤田正雄 Tel55-1128

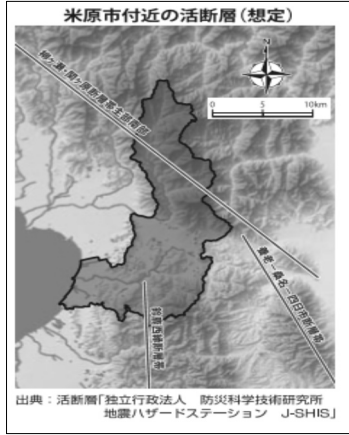
太田幸代 Tel54-2286

<http://www.jcp-maibarashigidan.com>

九州の熊本・大分地方大きな地震が起り、大きな被害が発生しています。阪神淡路大震災、東日本大震災を経て、改めて日本が地震列島であり、防災の必要性を国や行政地域が、それぞれ真剣に考える必要があり、また余震が続く、また今後降雨等で弛んだ地盤で土砂災害を引き起こされる可能性があります。災害の収束とすばやい復興が必要となっています。また被災者の震災関連死、精神的疲労や集団感染などに対する手厚いケアを望みたいと思います。そしてこの教訓を、どのように生かすのか、米原市にふり返って考えてみました。

米原市を貫く活断層は

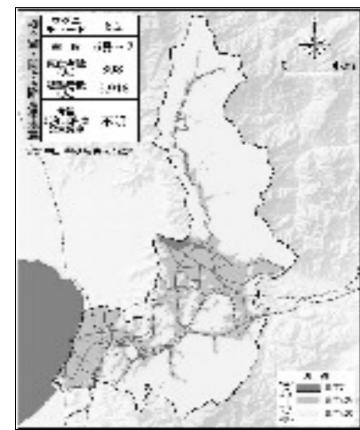
米原市周辺には、柳ヶ瀬関ヶ原断層帯、養老桑名四日市断層帯、鈴鹿西縁断層帯が走っています。現在米原市では、断層全体で活動する確率は低いとして、柳ヶ瀬関ヶ原断層帯による地震を想定して、防災計画が作られています。今回の熊本地震のように、いくつかの活断層が、重複して動くこともあり、震度7が2度も起こっています。見直しが必要です。この断層は、明治42年には、姉川付近を震源地として、マグニチュード6・8の直下型地震、姉川地震が発生し、米原市では死傷者6人、全壊家屋107戸の被害があったと記録されています。



災害想定はもうひとつ

米原市が作成した地震ハザードマップでは、マグニチュードは8・2。震度は6弱から7となっており、早朝5時に発生した場合、死亡者は308名、避難者は5,918名となっています。熊本地震はマグニチュード7・3ですので、それよりも強力な地震の発生が予想されています。

日本共産党は、九州地方地震災害への救援・支援募金のご協力をお願いしています。募金は最寄りの党地区委員会が党議員にお届けください。責任をもって被災地に送金させていただきます。



本年度「防災情報伝達システム」の更新が予算化され、戸別受信機の廃止、屋外スピーカーの更新、スマホやタブレットでの防災情報ソフトの開発が検討されています。是非とも今回の教訓等を活かして、防災情報伝達システムの見直しやハザードマップの改訂を図るべきです。

参議院選挙区は野党共闘で

林久美子氏へ

4月24日民進党支部連合会と日本共産党県員会、社民党県連合は7月に予定される参議院選挙の選挙区で野党統一候補として林久美子さんで勝利を目指すことを確認しました。確認した内容は①安保関連法の廃止を実現する。②集団的自衛権の閣議決定撤回。立憲主義の回復。③安倍政権打倒。与党とその補完勢力を少数に。覚書として、その他の政策課題、選挙作戦は各党で協議会を設置し、協議する。以上のことを確認しました。佐藤こうへい氏は共産党比例区の候補者となります。上の写真は



は共産党演説会で市田忠義副委員長と一緒に挨拶する林予定候補です。日本共産党は比例区850万票、9人の当選を目指しています。